

第13回国際ソロプチミスト神戸東クローバー賞



受賞者 中田 智恵海氏
NPO法人「ひょうごセルフヘルプ支援センター」代表

ご長男の障害に対する世間の無理解や差別の苦しい体験を経て社会福祉学を学び直す為に大学院に進学し、臨床教育学の博士号を取得され、22年間大学で人材育成と研究に携わって来られました。又、同じ障害を持つ患者や家族と連携し、法的制度の整備や社会の意識改革を目標に2000年に「ひょうごセルフヘルプ支援センター」を設立されました。現在は、あらゆる意味での差別に対し、当事者側と支援団体とを結ぶ役割を担い、この活動の意義を広く世間に紹介し、理解を深めてもらいたいと、講演や研究活動を行っておられます。



国際ソロプチミスト神戸東 中田さんにクローバー賞



国際ソロプチミスト神戸東の藤尾諭美会長から賞状を受け取る中田智恵海さん(右)＝芦屋市大原町、ホテル竹園芦屋

国際ソロプチミスト神戸東(事務局・西宮市)が、福祉や文化などの分野で社会に貢献した人をたたえる「第13回クローバー賞」の

表彰式が19日、芦屋市のホテルであり、神戸市東灘区のひょうごセルフヘルプ支援センター代表の中田智恵海さん(73)＝西宮市宮西町

Ⅱが受賞した。

中田さんは長男の口唇口蓋裂治療に悩んだことをきっかけに親の会に参加。活動するうち、学び合いを通じてセルフヘルプグループ(SHG)の質を高める必要性を感じ、これまでに大阪や兵庫、京都などでセルフヘルプ支援センターの設立に携わってきた。現在は兵庫にある300以上のSHGについて、情報提供のほかグループ同士の連携強化を促している。

表彰状を受け取った中田さんは「社会から認められたようでとてもうれしい。今後はセンターを全国に広げて交流を深めていきたい」と喜びを口にした。

(風斗雅博)